

一般質問

9 名が登壇 市政を問う

*この一般質問は 6 月 14 日に行われたものです。



議会の様子は「YouTube」で配信されています。

一般質問

・人口減少対策と市民の安心安全の確保について



福田伸次

問

消滅可能性自治体となったことに対する市長の感想と、今後どのような施策で持続可能な自治体に転換していくのか伺う

答

人口戦略会議において、全国で 744 市町村が消滅可能性と公表され、本市も含まれていました。消滅可能性自治体とは、2020 年から 2050 年の 30 年間で子どもを産む中心世代の 20 代から 30 代女性が半数以下になるとの推計が根拠になっており、人口減少対策が直結する問題と認識しています。一朝一夕で解決できる問題ではありませんが、平成 27 年度に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定して以降、総合計画と整合を図りながら進めています。第 3 次総合計画では、子育て世代や若年層の人口減少を抑制する対策を重点プロジェクトとして計画を策定していきます。

問

私が石川県珠洲市をボランティアで訪れた感想は、御前崎市広域避難計画で本当に円滑に避難ができるのかという不安で

答

す。市長は能登半島地震をどのような教訓として生かし、御前崎市避難計画の実効性をどのように考えるか

本市では、原子力災害時における防護措置が円滑にできる体制を構築するため、平成 29 年 3 月に原子力災害広域避難計画を策定しました。能登半島地震ではライフラインや道路状況の復旧や救護が進まなかったと聞いており、避難計画で避難に要する時間を改めて考慮する必要があると考えます。また原子力事業者に対し、放射性物質を外部に放出するような事故を起こさないことはもちろん、万が一、事故に陥る場合でも住民が安全に避難できる時間を十分に確保できるよう、安全対策に万全を期していただきたいと考えます。本計画では複数の避難経路を設定しており、国や県、避難先自治体、関係機関と協力しながら、更なる回路の検討などソフト・ハード対策を確実に進め、実効性の向上に努めてまいります。



全国市議会議長会表彰 東海市議会議長会表彰

4 月 18 日東海市議会議長会定期総会および、5 月 22 日全国市議会議長会定期総会において、増田雅伸前議長が市議会議員 20 年以上、阿形昭議員が市議会議員 10 年以上の表彰を受けました。

